

## 2023年(令和5年)4月オホーツク管内倒産集計

2023年5月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

### 3か月連続の発生 累積件数、負債額ともに前年比大幅増

#### 発生件数1件、負債総額1億7,000万円

■前月比	件数	1件減少(2023年3月	2件)
	負債総額	9,000万円増加(	8,000万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(2022年4月	0件)
	負債総額	1億7,000万円増加(	0円)

#### 2023年4月の発生状況

2023年4月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生が1件、負債総額は1億7,000万円だった。これは前月と比べると件数は1件減少したが、負債総額は9,000万円の増加。前年同月比では皆増となった。

当月の1件は網走市のカニとホタテを主体とした水産加工業者で、原料価格高騰などから、事業を停止し、事後処理を弁護士に一任したもの。これで昨年12月以来の3か月連続の発生となった。

過去5年間の4月の発生状況を見てみると18年1件、19年1件、20年2件、21年3件、22年ゼロ件の推移で、平均発生件数は1.4件、同負債総額が1億1,078万円。今年は平均値内の1件に止まったが、負債総額は1億円を超える規模の発生によって平均値を上回った。

## 2023年1～4月の発生累計

累計発生件数は4件、同負債総額が3億2,000万円。記録的な低水準で4月まで発生がなかった前年同期間と比べると皆増。

過去5年間の1～4月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は4.2件、同負債総額は4億4,418万円。今年は件数、負債総額ともに平均値内に止まり、過去3番目に少ない件数、負債総額となっている。

過去5年間と今年1～4月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2018年	6件	5億8,600万円
2019年	3件	1億5,990万円
2020年	6件	11億3,800万円
2021年	6件	3億3,700万円
2022年	0件	0円
2023年	4件	3億2,000万円

## 今後の見通しと問題点

国内外の観光客が増加しているなか、3年ぶりとなる行動制限のないゴールデンウィークが始まり、観光業界の期待は膨らんでいるほか、個人消費の回復、雇用環境の改善などによって足下の景気は回復傾向にある。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や円安などに伴う原油や輸入原材料の高騰に加え、人件費の上昇などが続いており、これらのコストアップが企業の収益を圧迫している。加えてゼロゼロ融資からの借換や事業再構築等への資金需要に対応するコロナ借換保証が開始されているものの、ゼロゼロ融資の返済開始のピークが6月から8月と言われており、こうした負担に耐えきれずに行き詰まる懸念もあり、管内倒産は今後緩かに増加を辿る可能性は高い。

